

平成24年度区立小学校・中学校の給食・牛乳の放射能測定結果

提供期間	品目	提供(採取)施設名	日数	摂取量(kg)	検査結果(Bq/kg) ※検出限界値:0.7Bq/kg			給食及び牛乳1週間分の放射性セシウムによる内部被ばくの実効線量(μSv)
					ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	
10月29日(月曜)から11月2日(金曜)	給食	御成門小学校	5	2.215	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.03721 μSv未滿
	給食	本村小学校	5	2.083	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.03499 μSv未滿
	給食	三田中学校	5	2.702	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.06052 μSv未滿
	牛乳	区立小学校	5	1.000	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.0168 μSv未滿
	牛乳	区立中学校	5	1.000	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.0224 μSv未滿
10月22日(月曜)から10月26日(金曜)	給食	白金小学校	5	1.779	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.02989 μSv未滿
	給食	六本木中学校	5	3.230	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.07235 μSv未滿
	牛乳	区立小学校	5	1.000	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.0168 μSv未滿
	牛乳	区立中学校	5	1.000	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.0224 μSv未滿
10月15日(月曜)から10月19日(金曜)	給食	麻布小学校	5	2.087	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.03506 μSv未滿
	給食	三光小学校	5	2.278	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.03827 μSv未滿
	給食	朝日中学校	5	2.831	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.06341 μSv未滿
	牛乳	区立小学校	5	1.000	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.0168 μSv未滿
	牛乳	区立中学校	5	1.000	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.0224 μSv未滿
10月9日(火曜)から10月12日(金曜)	給食	東町小学校	4	1.382	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.02322 μSv未滿
	給食	青山中学校	4	2.131	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.04773 μSv未滿
	牛乳	区立小学校	4	0.800	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.01344 μSv未滿
	牛乳	区立中学校	4	0.800	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.01792 μSv未滿
10月2日(火曜)から10月5日(金曜)	給食	赤坂小学校	4	1.795	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.03016 μSv未滿
	給食	御成門中学校	4	2.248	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.05036 μSv未滿
	牛乳	区立小学校	4	0.800	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.01344 μSv未滿
	牛乳	区立中学校	4	0.800	<0.7	<0.7	<0.7	0 ~ 0.01792 μSv未滿
【検査期間の内部被ばくの実効線量累計値】					給食	76日分	0 ~ 0.00056426mSv未滿	
*区立小学校における平成24年6月4日から11月2日までの給食及び牛乳の放射性セシウムによる内部被ばくの実効線量(μSv)の合計 *同一の週に複数の給食を測定している場合は、最も高い数値のものを累計対象とします。【1mSv=1,000μSv】					牛乳	76日分	0 ~ 0.00025536mSv未滿	

- *「<0.7」とあるのは、検出限界値未滿であることを表し、放射性物質の値が「0Bq/kgから0.7Bq/kg未滿」であることを表しています。
- *厚生労働省の新基準では、食品から許容することのできる放射性セシウムの線量を年間1mSv(ミリシーベルト)としています。この値は、食品の国際規格を作成しているコーデックス委員会の指標「年間1mSv」を超えないように設定されています。
[1mSv = 1,000 μSv]
- *摂取量とは、当該の1週間で摂取した総量で算出しています。(小学校は中学年を基準としています。)
- *内部被ばくの実効線量とは、給食・牛乳に含まれる放射性物質(セシウム134及びセシウム137)により、人体が受ける放射線の影響を示すものでシーベルト(Sv)で表します。(ヨウ素131は半減期が短く、新基準値の対象外のため、実効線量の算出は行いません。)
- *測定結果が検出限界値(0.7Bq/kg)未滿の場合、内部被ばくの実効線量はセシウム134、137が、それぞれ0から検出限界値(0.7Bq/kg)まで含まれていたと仮定して算出しています。

【給食及び牛乳にかかる1週間分の実効線量の算出方法】

※実効線量の換算係数は「緊急時における食品の放射能測定マニュアル(厚生労働省、平成14年3月)」を参照しています。

換算係数	対象	セシウム134 (μSv/Bq)	セシウム137 (μSv/Bq)	備考
	幼児	0.013	0.0097	保育園児の内部被ばくの実効線量算定に使用する換算係数。
	少年	0.014	0.010	小学生の内部被ばくの実効線量算定に使用する換算係数。
	青年	0.019	0.013	中学生の内部被ばくの実効線量算定に使用する換算係数。

●セシウム134: (検出値×摂取量×換算係数) + セシウム137: (検出値×摂取量×換算係数) = 実効線量